

健康友の会みみはら第31回総代会議案

※紙面の都合上、まとめの部分は省略させていただいています

1号議案

2018年度 活 動 方 針

健康づくり

友の会ブロックや支部で具体的にすすめていける「養成講座」を開催し、ブロック単位での開催もめざしていきます。

また、「まちかど健康チェック」は、地域での友の会活動の目に見えた活動の一つです。昨年度より多くの支部での開催をめざしていきます。

「健診受診」は、健康づくりの一環です。がん死亡の多い大阪でのがん検診受診率は全国ワースト1です。受診率を高め、早期発見・早期治療をめざし、会員・地域の健康をすすめていきます。

学習を支部・班を中心にさらに広げ、健康づくりの活動とあわせたとりくみを事業所との連携でおこなっていきます。

健康チャレンジは、より多くの方に参加していただけるようにとりくんでいきます。

ふれあい・支えあいのまちづくり

地域の相談窓口となれる支部の準備をすすめ、継続して全ての支部地域に「たまり場」をつくる活動にとりくみます。

介護事業所や自治会などと連携し、健康やくらしを支えあう助け合いのネットワークを強化します。引き続き、「ワンコイン助っ人隊」を各支部活動の重要課題に位置付け、行政区毎に地域コーディネーターを養成していくことを目標としていきます。

子どもから高齢者まで地域の状況を把握し、送迎サービスなどについて検討を開始していきます。

「とも」の配布と内容充実

事業所、支部で「とも」の取材などの協力者づくりをすすめていきます。たまり場や支部も増えブロックの担当者、協力者を選出し、より多くの意見・知恵でわかりやすい紙面をつくります。

会員の奮闘で「とも」手配り配布100%の支部が増えています。さらに配達協力者を増やし、「とも」を通じてのネットワークづくりをめざします。「とも」配達協力者懇親会を引き続き重視し、全支部で定期的に開催します。

支部・班づくり・会員拡大

たまり場だけでなく、地域での班活動は重要です。今年度もたまり場以外での班活動組織をめざしていきます。班組織は、150以上の班をめざし、各支部・ブロックで旺盛に班づくりをすすめます。

仲間増やしでは、多くの方に友の会の活動を知ってもらう宣伝活動を強化していきます。あわせて、担い手増やしでは、子どもや子育て世代とも結びつき、幅広い年齢層と共に活動できるように、支部と共同しながらすすめていきます。

支部づくりをすすめ、2000世帯を超える支部の分割、支部のない校区での支部結成をめざします。

まちづくりのためには、地域への事業所・職員の参加は不可欠です。会員・職員が連体し、地域運動をすすめていくことを重要視します。事業所は地域に果たす役割を明確化し、まちづくりのための方針作成をめざします。

要求実現にむけて、地域の困難を拾い上げ、伝え改善させていく運動をおこないます。特に対市・対区懇談には、ブロックで方針を持ち、事業所と連携して、具体的事例を基に参加していきます。

みみはら協同基金

小口多数をすすめ、より多くの方に協力していただけるように、同仁会・友の会活動、協同基金について知ってもらえる宣伝活動をおこないます。

協同基金の意味を会員だけでなく、職員へもより深め、事業所からの利用者への働きかけを強めます。

『いつでも元気』の普及

いつでも元気年間1000件をめざしていきます。

各支部での活用の工夫をおこない、普及をめざしていきます。

平和・社会保障・国民共同のとりくみ

9条改憲阻止のたたかいは正念場を迎えています。安倍政権による立憲主義破壊を許さず、憲法を守り、平和・民主主義・社会保障を守り発展させる運動を諸団体と共同してとりくみます。

介護保険総合事業の中でも、必要なサービスが受けれるよう自治体に求めていきます。また国民健康保険都道府県単位化へ移行されても、住民の命と健康を守る制度となるよう、諸団体とともに運動をすすめます。

引き続き震災復興支援、原発ゼロ自然エネルギーへの転換をめざす運動を、広範な団体とともにとりくみます。

都構想に反対する運動とともに、「カジノ」推進を許さない運動を広範な団体とともにすすめます。

格差と貧困・子どもの貧困問題にとりくみます。

共同の営み

地域の声を事業所に反映させるために、事業所と支部との懇談会の定期開催をめざします。

地域の要望にそった高齢者事業の展開を同仁会グループといっしょに推進します。

同仁会グループの事業所づくりや運営に、また、民医連職員の育成にもかかわっていきます。

組織運営

行政区ごとの「ブロック支部協議会」を中心とした組織運営をさらに推進し、行政との懇談・子ども支援・助け合い事業などをめざします。

地域での友の会活動を推進していくうえで重要な「たまり場」づくりを推進します。

活動の飛躍をつくるためには会員と職員の共同の運動なしには不可能です。職員の地域活動への参加を位置づけ、共に地域で活動する行動を提起します。

大阪民医連南ブロックを中心に全国、大阪の共同組織間連携・交流を深めます。

支部の世話人・担い手を増やしていくことは重要です。引き続き、支部活動協力者を増やし、地域要求をリアルにつかめる支部づくりをめざします。

今年は、2年に1回の全国の共同組織が集まる「全国共同組織交流集会」が横浜でおこなわれます。支部・職員から参加し、全国の経験を学びます。

※「会則」改定については、総代会当日に確認します。